



恭賀新年



発行所
明野駐屯地
広報班



三重県家族会
会長
中村 伸次



三重県隊友会
会長
三石 浩夫



駐屯地最先任上級曹長
准陸尉
江頭 貴



陸上自衛隊航空学校長
兼ねて明野駐屯地司令
陸 将 補
廣瀬 敏彦

あけましておめでとうございます。令和6年12月20日付で着任しました、第41代陸上自衛隊航空学校長兼ねて明野駐屯地司令の廣瀬将補です。

皆様におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

我が国周辺には、軍事力を広範かつ急速に増強し、軍事活動を拡大・活発化する国々があり、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しております。

また、国内においては、異常気象による災害が常態化するとともに、大規模な地震が全国で予想されており、予断を許さない状況が続いております。

これらの脅威に的確に対応すべく、航空学校は、時代の趨勢をしっかりと見据え、創意を尽くして実践的・実地的な教育及び研究の充実・発展に努め、これまで以上に三校が一体となって校務を運営してまいります。

また、平素より明野駐屯地に対する皆様のご理解、ご協力に改めて感謝を申し上げますとともに、信頼される駐屯地を創造することをここにお願い申し上げます。

皆様とさせていただきます。

皆様にとって、本年も将来に向けた輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます。

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、明野駐屯地に対するご理解、ご支援を賜りますとともに各種行事にご参集いただき心より感謝申し上げます。

駐屯地は、永久に日本国を守り抜ける組織となるよう人材育成、教育訓練改革、調査研究及び環境改善に励んでいるところであります。引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、准曹士に関しては、指揮官企図に基づき自らが状況判断をして行動し任務を完遂するため、意識改革及び知識、技能の更なる向上を図って参ります。

引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹んで新春をお祝い申し上げます。

廣瀬敏彦航空学校長兼ね駐屯地司令の下、一丸となつて、百年以上の伝統に輝くこの明野の地で、国の防衛という崇高な任務達成のため、一致団結、日々厳しい訓練等に精進されておられることに對しまして感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は元旦に突然、能登半島地震が震災、駐屯地各部隊は速やかに災害派遣出動で、厳寒の中、被災者に寄り添った素晴らしい活動を実施されました。

いま、戦後最も厳しく複雑な安全保障下にあります。陸上航空の任務も今までの以上に即応機動等その精強性を更に要求されことになると思います。今年も精強な部隊・隊員となるべく一層のご努力をお願いいたします。私たち隊友会は自衛隊出身者としての誇りを胸に「自衛隊と国民の架け橋」を指標として各種事業等を積極的に推進してまいります。

最後に明野駐屯地隊員及びご家族の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し年頭のご挨拶と致します。

新年の何かしら新鮮な空気が流れ、気持ち新たに令和7年の歩みが始まろうとしています。

あけましておめでとうございます。

今年は巳年ですが、私の田舎の空にコブラ(AH-1S)の舞う姿を見て「コブラは巳」そう思うのです。

その雄姿は陸上攻撃を支援する迫力と信頼を垣間見させてくれます。この信頼は、国民の安全と平和を強く認識させてくれます。言わずもがな背景には隊員の皆様の練成とたゆまぬ向上心があると確信しています。

私たち家族会会員は皆さんを支援し、自衛隊の前途を見守っています。

着任された廣瀬司令の下、どうかいかなく「自衛隊力」を発揮せられることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

駐屯部隊長 年頭挨拶



飛行実験隊長
1等陸佐
藤原 英之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の巳の年を迎え、変革と成長の象徴である蛇のごとく、飛行実験隊は更なる高みを目指し、安全かつ効果的な飛行試験に取組んで参ります。本年も皆様のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上が「Coriolis」に作成させた飛行実験隊長の新年の挨拶です。

技術の進歩は非常に速いものです。研究開発を担う部隊として、様々な技術を使いこなせるよう日々精進したいと思えます。

皆様の幸多き年となることを祈念申し上げます。



第5対戦車
ヘリコプター隊長
2等陸佐
高橋 慎一郎

明けましておめでとうございます。
令和6年12月20日付で航空学校宇都宮校企画業務室長から第15代第5対戦車ヘリコプター隊長を拝命いたしました。

平成6年3月創隊以来、第5対戦車ヘリコプター隊は、先人のご尽力及び隊員の弛まぬ努力により航空無事故を継続しています。

その伝統を継承すべく、日々組織として安全を確保するとともに、新たなことに挑戦する気概と向上心を持って部隊の精強化を図り、任務の完遂に邁進してまいります。

これまで同様、各協力会の皆様方を始め、関係自治体、駐屯各部隊等の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



第10飛行隊長
2等陸佐
荻原 恵太

明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
第10飛行隊は、今年で創隊63周年を迎えるとともに、無事故飛行継続59年という記録を達成することができました。これもひとえに、皆様のご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今年も、「気づき、口にし、実行する」の

安全指針のもと、更なる練度向上と信頼の構築に努めて参ります。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



中部方面
管制気象隊
第1派遣隊長
3等陸佐
坂谷内 健

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
管制気象隊の隊務運営に深いご理解とご協力をいただきましたありがとうございます。

昨年は能登半島での数次の災害派遣での飛行支援や共同訓練における米軍機支援等、管制気象支援の真価を問われる場面が多く、身の引き締まる1年でした。

令和7年の干支が「乙巳」であるのとおり、本年は「しなやかさ」をもって明野飛行場の安定運用のために適切な管制気象業務を実施するとともに、災害対処訓練や日米共同訓練をはじめとする各種場面で航空安全確保に寄与し、陸上航空が任務を達成すべく「積極支援」を継続したいと考えております。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



第306基地通信中隊
明野派遣隊長
3等陸尉
前田 拓治

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健康やかな新年をお迎えるのこととお慶び申し上げます。

基地通信隊は駐屯地のシステム通信維持部隊としてその任務を遂行できるよう日々業務に邁進しております。

また、昨今はサイバー攻撃等多様な任務に即応できる能力が求められております。派遣隊一丸となり能力の向上を図り、引き続き良好な回線を皆様に提供できるよう努めていく所存です。

本年も変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



第107全般支援大隊
整備中隊
明野派遣隊長
3等陸尉
東丸 弘樹

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

第107全般支援大隊整備中隊明野派遣隊は、明野駐屯地に常駐する野整備部隊として、また車両整備のプロとして、積極支援に努めるとともに、整備技能を向上させ被支援部隊の任務達成に寄与できるよう日々精進してまいります。

本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

巳年生まれ 新年の抱負 (平成13年生)



航空学校整備部
陸士長
山田 効

そろそろ陸士もへびのように脱皮して、陸曹候補生合格を目指して頑張ります。



飛行教導隊
陸士長
鈴木 佑弥

へびの如く脱皮を繰り返し、男として大きくなるため、今年は沢山皮が剥けるように精進します。



5対戦ヘリ隊
3等陸曹
堀本 大聖

陸曹としてよりレベルアップできる1年にしたいと思っています。



10飛隊
陸士長
宮脇 百輝

成長を止めないよう、努力して参ります。



10飛隊
1等陸士
柏崎 梢

今年は巳のように、狙った獲物は逃がさずつかみ取りたいと思います。



10飛隊
1等陸士
都世子 優花

何事に対しても向上心を持って積極的に取り組みます。

令和7年 駐屯地年頭行事



行 飛 隊 編 頭 年



陸 離 隊 編



視 察 行 飛 隊 編 長 校 学



隊 員 送 見 目 振 っ て 手



入 目 の ま だ
(駐屯地最先任上級曹長)



太 鼓 院 宮 離 ば お



祝 辞 市 長 一 健 木 鈴



祝 辞 議 員 院 衆 敬 英 木 鈴



抱 負 の 隊 員 歳 二 十

航空学校は、令和7年1月7日に年頭安全行事、8日に年頭編隊飛行、10日に賀詞交歓会及び二十歳の祝賀行事を行いました。

年頭安全行事では、航空学校長及び各部室隊長等による、だるまの目入れを行い、今年一年の安全祈願と事故の絶無を誓いました。

年頭編隊飛行では、隊員の士気・団結を高揚させる見事な編隊飛行を行い、それに対し地上から見守る隊員は手を振って応え、航空安全確保の決意を新たにしました。

賀詞交歓会及び二十歳の祝賀行事には、鈴木英敬衆議院議員、鈴木健一伊勢市長、県・市・町議会議員、近隣自治会長、各協力会会長及び近隣基地司令等、平素より明野駐屯地に対するご理解・ご協力をいただいている皆様に参加いただきました。また、同会において二十歳の抱負や「おばた離宮院太鼓」による太鼓演奏を披露し、約5年ぶりとなった賀詞交歓会は大盛況、令和7年の各種年頭行事は、無事、大成功で終えることができました。

廣 瀨 陸 将 補 着 任



令和6年12月20日付で、廣瀨敏彦陸将補が、第1ヘリコプター団長から、第41代航空学校長兼ねて明野駐屯地司令に着任しました。

廣瀨将補は航空学校長として、

「創造と実践」

「三位一体」

駐屯地司令として、

「感謝と信頼」

を要望しました。



第41代陸上自衛隊航空学校長
兼ねて
明野駐屯地司令
陸将補 廣 瀨 敏 彦
(ひろせ としひこ)

【主要部隊歴等】

平成5年3月 第3対戦車ヘリコプター隊／目達原

15年8月 第1師団司令部／練馬

22年3月 第14飛行隊長兼北徳島分屯地司令／北徳島

28年3月 東部方面総監部人事部長／朝霞

29年12月 北部方面航空隊長兼丘珠駐屯地司令／丘珠

令和2年12月 第8師団副師団長兼北熊本駐屯地司令／北熊本

3年12月 北部方面総監部幕僚副長（防衛）／札幌

4年12月 第1ヘリコプター団長兼木更津駐屯地司令／木更津

6年12月 現職

更 谷 将 補 航 空 学 校 追 悼 式

更谷光二陸将補は、令和4年12月23日から約2年間に、第40代航空学校長兼ねて明野駐屯地司令として勤務され、この度、約35年の自衛隊での勤務を終え、令和6年12月19日付をもって勇退されました。

更谷将補は、離任に際し「ごきげんよう、さようなら」と笑顔で所在隊員に声を掛けつつ、明野駐屯地を後にしました。駐屯地一同、更谷将補の今後ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



令和6年10月19日、明野駐屯地で令和6年度航空学校追悼式が執り行われました。

追悼式には、殉職隊員ご遺族、明野忠魂塔顕彰会をはじめ、各協力会の方々が参列された他、駐屯地所属隊員等が参列しました。式は、航空学校で殉職された隊員及び旧陸軍戦闘機隊全殉職者・戦死者の御霊への拝礼黙祷の後、航空学校長 更谷陸将補及び明野忠魂塔顕彰会 梶原久生会長の追悼の辞、献花、中部方面音楽隊による追悼演奏、儀仗隊の弔銃等、厳粛に取り行われ、謹んで追悼の意を表しました。



追悼演奏



弔銃



追悼の辞



献花



